

検 算		設 計	
--------	--	--------	--

令和7年度

地質調査業務委託(鷹巣中学校)

金抜き設計書

業 務 番 号

教総中委第17号

地区名／団地名

鷹巣地区

業 務 場 所

北秋田市坊沢字下上野79 地内

業 務 概 要	事 業 主 体 名	北秋田市
地質調査業務1式	業 務 期 間	45日
	着 手 年 月 日	契約日の翌日
	完 了 年 月 日	
	業 務 委 託 費	円 円
	積 算 見 込 額	円 円

地質調査業務委託（鷹巣中学校）

特記仕様書

令和7年10月

北秋田市教育委員会教育総務課

本仕様書は、北秋田市が委託する地質調査業務委託（鷹巣中学校）を行うにあたって必要な事項等を示したものであり、地質調査業務の執行は、本仕様書、地盤調査標準仕様書（文部科学省の技術的基準）による。

I. 一般事項

（１）業務の概要

地質調査業務委託（鷹巣中学校）の実施に際し、体育館改築位置における地盤情報の把握を目的とするもので、予後の設計施工に要する地層構成や液状化特定などを求めることにある。

（２）業務内容

本業務における実施数量を下表に示す。

表 1－1 調査内容及び数量

調査内容	調査項目・調査種類	調 査 数 量
機械ボーリング	ロータリー式 (ノンコアボーリング)	ボーリング深度 延べ 60m (20m×3箇所)
サウディング	標準貫入試験	1.0m掘削毎 60 計回
サンプリング	乱した試料採取	標準貫入試験資料
室内土質試験	物理試験	土の粒度試験（ふるい分析）
液状化解析	簡便法による	1 業務

(3) 打合せ及び記録

原則として、下記の時期に打合せを行う。尚、打合せ事項を覚書として提出すること。

- ① 契約直後
- ② 地盤調査業務着手時
- ③ 関係機関との打合せ
- ④ 地盤調査業務立会い時
- ⑤ 地質調査結果判明時
- ⑥ 調査報告書作成時
- ⑦ 地質調査業務完了時
- ⑧ その他打合せを必要とするとき

II. 業務内容

(1) 機械ボーリング

- ① 機械ボーリングは、地盤工学会編の「地盤調査法」によるほか、地盤調査標準仕様書による。
- ② ボーリング位置、方向、深度、孔径及び数量は、地質調査業務委託設計書による。
- ③ 計画深度まで掘進を完了しても調査の目的を達しない場合、又は計画深度の掘進を完了する以前に調査の目的を達した場合は、速やかに担当職員と協議する。

(2) 標準貫入試験

- ① 標準貫入試験は、JISA1219 によるほか、地盤調査標準仕様書による。
- ② 試験位置は地質調査業務設計書による。
- ③ 標準貫入試験は地盤面より 1 m の深さから 1 m 毎に試験を行う。

(3) 室内土質試験

- ① 標準貫入試験試料を用いて土の粒度試験（ふるい分析）JIS A 1204 を実施し、後述する液状化解析に要する地盤定数を得る。

(4) 液状化解析（簡便法）

- ① ボーリング調査による地下水位、地盤構成、N値、室内土質試験結果、推定土質定数、これら諸条件を踏まえ地震時の液状化の可能性について簡便法により解析する。

Ⅲ. 報告書の作成

報告書の作成に際し、次に定めるところにより、その成果の取りまとめを行う。

(1) 資料整理のとりまとめ

- ① 各調査結果の評価及び考察
- ② 異常データのチェック
- ③ 試料の観察
- ④ ボーリング柱状図の作成

(2) 断面図等の作成

- ① 地層及び土性の工学的判定
- ② 土質又は地質断面図等の作成。断面図は着色する。

(3) その他

担当員により特に指示された項目

Ⅳ. 成果品

(1) 本委託業務に伴う成果品は別紙提出図書一覧による。

(2) 受託者は、仕様書に規定がある場合又は担当員が指示し、これに同意した場合は履行期間中においても、成果品の部分引き渡しを行わなくてはならない。

(3) 引渡し前における成果品の全部又は一部の使用を当市が求めた場合には、使用同意書を提出するものとする。

Ⅴ. 検査

(1) 受託者は、地質調査業務が完了したとき、部分払いを請求しようとするとき及び部分引き渡しの指定部分に係る業務が完了したときは、検査を受けなければならない。

(2) 受託者は、検査を受ける場合には、あらかじめ成果品を整備し担当員の確認を受け、成果品の全てを写真撮影の上、納品書に添付すること。

Ⅵ. その他留意事項

(1) 調査方法については、事前に担当員と十分協議すること。

(2) 調査箇所及び数量等の増減、変更等が生じ場合は、原則として、委託業務内容の範囲内で変更、調整を行うこと。大幅な数量等の増減が生じる場合は、速やかに担当員と協議し、設計変更等の対応を行うものとする。その場合の単価については、設計単価に落札率を乗じた単価にて増減を行うものとする。

(3) 調査の実施にあたっては、適用を受ける関連法令等を遵守し、災害及び公害の防止に努めること。災害又は公害が発生した場合は、速やかに適切な処置をとり、直ちにその経緯を書面にまとめた上で、担当員に報告すること。

(4) 調査上の問題点、その他疑問の生じた点については、その都度担当員と協議を行うこと。

- (5) 報告書等の所有権は、全て当市に帰属するものとし、当市の承認を得ないで使用、貸与又は公表してはならない。
- (6) 受託者が行う関係官公署その他への届出、手続き等は、速やかに行うとともに、届出内容等を担当員に報告すること。

別紙 1

提出図書一覧

地質調査報告書（原稿）	1 部	A 4 ファイル
地質調査報告書（製本）	3 部	A 4 ファイル綴じ 硬質紙
試料標本箱	1 部	標本箱
打合せ覚書	1 部	A 4

業務名	地質調査業務委託(鷹巣中学校)				事業区分	鷹巣中学校体育館改築	
					業務区分	地質調査業務	
業務区分・種別・細別	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考	
I 一般調査業務							
純調査費		1.0	式				
諸経費	一般調査業務	1.0	式				
I 計		1.0	式				
II 解析調査業務							
解析調査業務		1.0	式				
一般管理費		1.0	式				
II 計							
業務価格	I + II	1.0	式				
消費税相当額	(I + II)×10%	1.0	式				
総業務費		1.0	式				

業務名	地質調査業務委託(鷹巣中学校)				事業区分	鷹巣中学校体育館改築	
					業務区分	地質調査業務	
業務区分・種別・細別	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考	
I 一般調査業務 純調査費							
1)直接調査費							
土質ボーリング (ノンコアボーリング)	粘性土・シルト、50m以下 鉛直下方 φ66mm	20.0	m				
土質ボーリング (ノンコアボーリング)	礫混じり土砂、50m以下 鉛直下方 φ66mm	40.0	m				
標準貫入試験	粘性土・シルト	20.0	回				
標準貫入試験	礫混じり土砂	40.0	回				
室内土質試験	粒度 ふるい分析	15.0	試料				
解析等調査		1.0	式			別紙明細1	
電子成果品作成費		1.0	式				
1)直接調査費小計		1.0	式				
2)間接調査費							
機械器具等運搬		1.0	式				
準備及び後片付け		1.0	式				
仮設費	平坦地足場	3.0	箇所				

業務名				事業区分			
				業務区分			
業務区分・種別・細別	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考	
安全費	環境保全(仮囲い)	3.0	箇所				
調査孔閉塞		3.0	箇所				
給水費		3.0	箇所				
施工管理費		1.0	式				
2)間接調査費小計		1.0	式				
一般調査業務 純調査費 計	1)+2)	1.0	式				

業務名	地質調査業務委託(鷹巣中学校)			事業区分		鷹巣中学校体育館改築	
				業務区分		地質調査業務	
業務区分・種別・細別	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考	
Ⅱ 解析調査業務							
1)直接費							
既存資料収集 現場調査	ボーリング本数3本	1.0	業務				
資料とりまとめ	ボーリング本数3本	1.0	業務				
断面図等作成	ボーリング本数3本	1.0	業務				
軟弱地盤解析(現況)	液状化 簡便法	1.0	業務				
打合せ	中間1回	1.0	式				
1)直接費小計		1.0	式				
2)間接費							
その他原価	1)× #DIV/0!	1.0	式				
2)間接費小計		1.0	式				
解析調査業務 計	1)+2)	1.0	式				

業務名	地質調査業務委託(鷹巣中学校)			事業区分		鷹巣中学校体育館改築	
				業務区分		地質調査業務	
業務区分・種別・細別	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考	
別紙明細1							
解析等調査							
資料整理とりまとめ 直接人件費	直接調査費 土質ボーリング3本	1.0	業務				
断面図等の作成 直接人件費	直接調査費 土質ボーリング3本	1.0	業務				
別紙明細1 計							